週　報

日本基督教団　翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一歩一歩を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
（詩編 37 編 23 節）



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝　毎日曜日　午前 10 時半
子どもの教会　毎日曜日　午前 9 時　～10時
祈 祷 会　各水曜日
○昼の聖書研究祈祷会
（第3・午後2時）
●夕の祈祷会
（第2、第4・午後7時）

牧　師　井殿　準

〒252-0312　相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 042-742-1593
FAX. 042-742-1393
ホームページ：http://www.midorigaoka.jp
郵便振替口座　日本基督教団翠ヶ丘教会　本会計
00290-4-80707

3236　2026 年 11 月 22 日

礼 拝 式 順 序

（降誕前第 5 主日）

司式者　井殿　準
奏楽者　黒田理佳

前　奏		奏楽者
招　詞	詩編 96：7～9	司式者
讃美歌	148「全地よ、主に向かい」	一　同
聖　書		司式者
	サムエル記下 5：1～5（旧 P. 487）	
使徒信条	（93－4－A）	一　同
祈　祷		司式者
讃美歌	50「みことばもて主よ」	一　同
説　教	「神が選んでいる故に」	司式者
祈　祷		〃
讃美歌	96「恵みあれしもべらに」	一　同
献　金		〃
主の祈り	（93－5－A）	〃
頌　栄	28「み栄えあれや」	〃
祝　祷		司式者
答　唱	40－6「アーメン」	一　同

～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～

報　告		司式者
讃美歌	91「神の恵みゆたかに受け」	一　同

・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
・ＦＭ電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「神はあなたを必要とする」

（出エジプト記３：１～１５）

モーセは、民をエジプトから導き出した偉大な指導者、十戒をシナイ山で受け取った律法の賦与者とも呼ばれる英雄的な存在であり、芸術の世界においては力に満ちた屈強な人物として描かれることが多い。しかし、神から召命を受けた時のモーセは、決してそのような者ではなく、殺人の罪で故郷を追われた（2：11以下）、ただの年老いた貧しい羊飼いでしかなかった。

エジプトから逃亡したモーセは、ミディアンの地で祭司エトロの娘と結婚し、羊を飼う者となった。その地でモーセは、貧しいながらも、子に恵まれ、何事もなく、平穏な日々を過ごした。そんな日々が長く続いて、齢も８０歳に達した頃、モーセは、「エジプトの苦しめる民を救い出せ」との召命を受ける。モーセは、なかなかこの命に応えようとしない。ここにおけるモーセは、エジプトの若きプリンスでも（2：10）、偉大なる民の指導者、屈強な解放者でもなく、なんとか口実をもうけて自分を救おうとするただの人である。しかし、神は、この力の衰えた、我が身のかわいい、臆病で、頼りないモーセを必要とされた。

神は、モーセの「重い舌」（4：10）を軽くしたりはしない。年老いた彼を若返らせたりもしない。モーセはモーセのままで召し出されて行く。しかし、そのようなモーセが出エジプトの出来事を成し遂げたのだと聖書は告げる。モーセは、自身の内には何一つ頼りになるようなものを持っていない。しかし、それだからこそ、モーセは神により頼み、出エジプトの出来事を成し遂げることができたのだ。

神は、何も特別な人を選び出すのではない。どこにでもいるただの人、弱々しい臆病者、英雄と言うより世界の片隅でひっそりと我が身の安全を思いながら生きる者に呼びかけ、ご自身の救いの歴史に招き入れて行く。我々は、不安と恐れの渦巻くこの世界に生きて、「ひっそりと何事もなく生きていればそれで良い」「ささやかな幸せを味わえればそれで良い」と考えそうになるかも知れない。しかし、「わたしに従って来なさい」との招きに応えて、神の救いの歴史に参画する生へと踏み出して行こう。